

十勝新聞教育研究会

第24回 北海道十勝新聞教育研究大会

発表資料

資料内容

授業時指導案

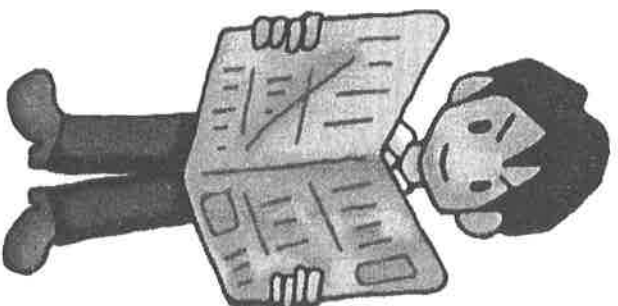
当日使用のワークシート

生徒に配付した資料、記事のプリント

感想を掲載した学級通信

勝毎の取材記事

パワーポイントの印刷資料



鹿追町立鹿追中学校

近藤 弘樹

道徳学習指導案

1 主題名

ワナールって何だろう？～暮らしやすい社会や環境について考えよう～

2 指導内容

小学校 ～ 4ー(1) 公德心
中学校 ～ 4ー(2) 公德心

3 資料

- 十勝毎日新聞 ①2013年5月16日(木) 29面 花見客ごみ放置深刻
②" 5月27日(月) 27面 ルポとから 宴の後 ああ無惨
③" 5月28日(火) 20面 FBに反響続々
④" 5月29日(水) 編集余録
⑤" 5月30日(木) 29面 緊急リポート 緑ヶ丘公園ゴミ放置問題・上
⑥" 5月31日(金) 23面 緊急リポート 緑ヶ丘公園ゴミ放置問題・下

4 主題設定について

公德心とは、社会の一員としての自覚に基づき、公共のワナールや利益を守ろうとする心を指す。具体的には、公共物を大切にすること、人に迷惑をかけないようにすること、公共の利益のために進んで奉仕することなどが、あげられる。これらのことは、社会生活上のルールや基本的なモラルなどの倫理観並びに遵法の精神につながり、規範意識の育成には欠かせない要素である。

しかし、現在の社会情勢において、自分の楽しみや利益のみを主張・追求したり、集団よりも個人を優先する場面が見られるなど、自己抑制力や忍耐力を培う場が減少し、子どもたちにとつて公の場を意識して行動しようとする心が育ちにくい状況とも言える。

学校の日常生活を振り返っても、給食や清掃の当番活動、児童会・生徒会主催によるボランティア事業などを実施しているが、仕方なくやっている「やらされ感」や自分がやらなくても誰かがやってくれるという「依存感」を持つ子どももいる。

自分の自覚と責任において、主体的に能動的に行動することにより、自己肯定感を持てる子どもにも成長してもらいたいという願いをこめて、本主題を設定した。

5 新聞活用のねらい (資料について)

新聞記事は、道徳の資料としての価値観を持って書かれているものではない。よって、記事全てを用いるのではなく、ねらいに即した部分を取り上げて資料とすることが重要である。また、今回の特集記事は量的なボリュームも非常に多いので、読みこみに終始するのではなく、考えたり、話し合うなどの活動を確保していかないと、道徳授業として成立しない。

以上の点に留意すれば、まさに自分達の地元・ふるさとで起きていること、そして今まさに起きているという「時と場」をしっかりと感じる身近な教材として、価値が高まるものと考ええる。

6 他教科、他領域との関連・発展

【国語】※④⑥記事を追加資料 ・ デイレポート ・ 意見文の作成

【社会】※④⑥記事を追加資料 ・ 情報～新聞機能の持つ特性、報道の意義について考える。

世論への感化、行政への働きかけ など

【特別活動】・各種ボランティア活動 (一斉ゴミ拾い等)、日常の学級の当番活動 など

→道徳的実践力の育成の場として

7 本時の学習について

(1) 本時のねらい

社会の一員としての自覚を持ち、公共のマナーを守ろうとする心を育てる。

(2) 本時の展開

	学 習 活 動	評価 (◎) 手だて (○) 留意点 (・)
課題把握 10分	<p>1 興味・関心を持つ教師が用意した緑ヶ丘公園の写真を提示し、思ったことを発表しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【課題提示】 マナーって何だろう？ ~暮らしやすい社会や環境について考えよう。</p> </div>	<p>(・事前に緑ヶ丘公園の写真を用意しておく) ・実物投影機で映し出す。</p>
	<p>2 資料を読んで話し合う 資料①を範読。 ※全文紹介するのではなく、状況が理解できればいい。 感想を発表する。</p>	<p>○前年からの懸念ということを理解させる。 ・記事を実物投影機で映し出す。 ◎道徳的心情 マナーを大切にすることを大切に だと気づく。</p>
課題追 求 30分	<p>▼資料①、②、⑤の小林さんの写真を提示し、行動(記事)を紹介する。 ・小林さんの気持ち を考えてみよう 個人で考えた後、発表し、交流する。 4 資料⑤の警備員に対する罵声を取り上げる。この出来事から思うことを考え、交流する。 5 言葉遣いのことも含め、「自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るために必要なマナーについて考え(班で話し合う。その後)全体で交流する。</p>	<p>◎道徳的判断力 ただキレイにするというだけではなく、資料のさまざまな視点からボランティアやマナーについて考え、時と場に応じた判断が必要なきことに気づく。 ・記事を載せた資料を配付する。</p>
まとめ 10分	<p>5 自分をふりかえる 感想をシートに記入する。</p>	<p>◎道徳的実践意欲と態度の育成 日々の活動や特別活動等で、体験と結びつけることが望ましい。</p>

道徳シート テーマ：「0000」

年 組 番 名前

①「小林さん」は、どのような気持ちで「ごみ捨て」をしているのだろうか、書いてみよう。

②「整備員」に対する「罵声」という出来事から、思うことは何だろうか、書いてみよう。

③「自分たちが暮らすやすい社会や環境を作るために必要な」についてあなたが感じたこと、考えたことを書いてみよう。
クマ

今日の授業の感想を書きましょう。
(今日の授業を終えて、もし自分の普段の当番・係活動をふり返って何か考えがあれば書いてみよう)

付近住民「対応は限界」

緑ヶ丘公園では長年、バベキユ―後のどが放置が課題。月曜日の早朝は放置されたものが辺りに散乱する(27日午前4時50分ごろ)



■警備員に罷指
同公園駐車場の施設管理業務を請け負った警備員男性(37)の証言は深刻だ。午後10時ごろに園内で車のライトを照らして焼き肉を食べている若い男女6人に駐車の施設を告げに行ったところであった。だが、彼ら

清掃、注意喚起も悪質化

が返した言葉は「うるせえー」なんて退けられるんだ。」との悪言だった。警備員は「注意してトラブルになるのが一番怖い」と感じている。自分の身に危険を感じ、立ち去るしかなかった。ただ、「見て見ぬふりを続けていては何も変わらない。いま一度、自分を言わ市民全員がきちんと考えないと」と痛感する。

悪質なごみ放置問題は、はや「住民活動の対応では限界だ」(小林さん)。FBに多数寄せられたコメントには、こんな怒りの声もあつた。「公園設置者の苛立ちほど対応しているんだ

！」。(杉原道勝)
■
■
■

帯広市緑ヶ丘公園でごみ放置問題が深刻化している。心ない公園利用の現状、陰ながらボランティア活動で清掃する付近住民の苦勞、抜本対策に欠く市の管理体制を迫った。30日は「みせロの日」。

2013.5.30.

With all our might

2013.8.28 (WED) Score of 70

Written by Hiroaki Kanno, Saitama Univ.

“自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るために必要なランナー”

について、考えました

月曜日の道徳の時間に“ランナー”について、自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るという視点から考えました。

帯広・緑が丘公園での出来事から考えました。ここ数年、緑が丘公園では花見シーズンになるとゴミが散乱して、付近住民が見かねてボランティアでゴミ拾いをしている現状があります。また、ゴミを片付けない人が、注意した警備員に対して罵声を浴びせたり、公園を管理している帯広市も呼びかけをしているものの、なかなかよくならない現状があります…。

この出来事を授業で取り上げ、授業の感想や自分の普段の当番・係活動をふり返って考えたことを書いてもらいました。紹介します。

・ゴミを見つけたら、すぐに拾いたい…。

・ゴミをちゃんと分別する。

・意見文でこの題材について書いているんですが、ランナーが悪い人が一人いるだけでたくさんの人に伝染してしまう。周りの人が、伝染されないように頑張るんだ！

・みんなが使いやすい環境を作りたい。

・捨てる人は拾う人の気持ちをちゃんと考えていたら、きっと捨てる人はそういう考えは持っていないんだと思います。

・もしルールを守れない、ランナーを守れないというのなら、もっと厳しくしてやらなければならぬのかもかもしれません。そして、ゴミを放置して、帰って帰ったりできないのならば、もう二度とゴミの出るもの、お菓子や、パーベキューなどもできなくなり、自分たちだけではなく周りの人々や、他の地方の人々にも迷惑をかけ大変なことになってしまいます。ルールやランナーはしっかりと守ってほしいです。

・ランナーも守れない人がまだこの世にいるんだなと思います。
・実際このようなことがあるんだな—と思いました。花見をするなら、しっかりと後片付けをしてほしいなと思いました。

・放置問題とかはしないこと。印象は小林さんがゴミを拾っているところと、警備員が罵声と向き合っ

て注意しているところが印象に残りました。

・小林さんはゴミ拾いをボランティアでしているのはすごいことだと思います。こういう人がいるから、こうして公園で遊んでいると思います。これからも、ゴミを捨てず、生活していきたいと思いました。

・自分なりにランナーは守っているつもりです。大人がこんなことをしていたら、子どももまねしてしまうと思う。

・もう一度やり直そうと思う。

・ゴミはちゃんと捨てた方がいい。

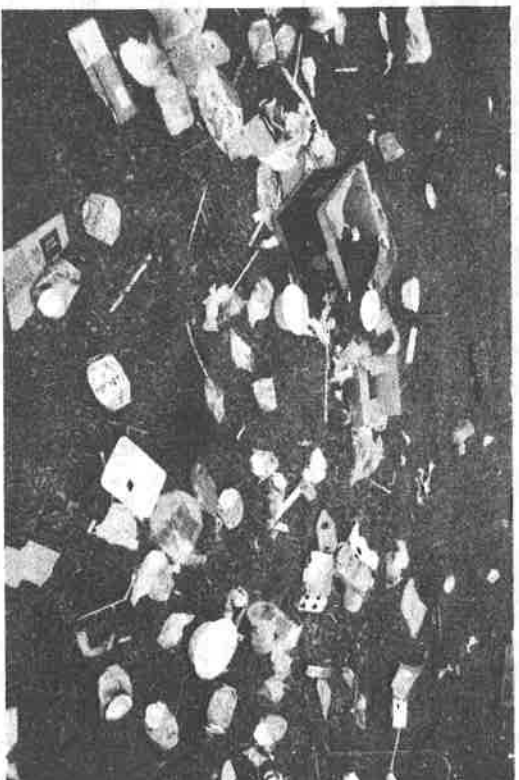
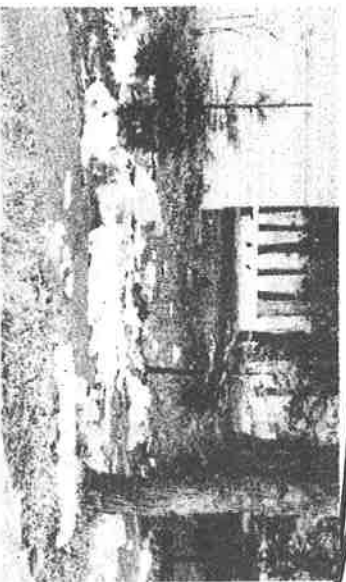
・今日この授業を受けて、これから自分の仕事に責任を持ってやらなければいけないと思った。これからはもっとゴミなどについて真剣に考えていこうと改めて思った。

・自分の仕事をさぼると、誰かが苦労していることを改めて考えた。

・もし自分が仕事をするようになっていたら…？ということを考えて、自分が掃除しなくてもきれいにするよう心がけていようと思います。学校とかでよくあることなのですが、皆で協力して生活することにおいて、やはり迷惑のかかることはしない方がいいですね。

- ・ゴミはちゃんと投げ捨てないで持ち帰りをしないとカラスに特に荒らされるということがわかりました。
- ・警備員に対して怒鳴る人は、花見やバーベキューなどに来る必要がないんじゃないかと思いました。
- ・公園にゴミを捨てるのはいけないことだと思います。マナーを守ることは大切なので、守った方がいいと思います。
- ・んー。しつかりやっていかなかったなあと思いました（自分の普段の当番・係活動）。みんなのためにもしつかりやらなければ！！
- ・緑が丘公園のゴミの量はびっくりました。みんなの場所であんなマナーを守らない人は最低だと思う。
- ・私は、初めてこんなにマナーを守らない人がいることを知りました。これは、1人ひとりがちゃんとやらないとダメだなと思います。このままじゃ、自然が壊れちゃうと思いました。
- ・「しんじられない」と「あきれ」だけです。なんでこんなことするの？と思う。周りの人のことを考えてますか？汚かったら、嫌ですよな？そう思った。鹿追の道路には空き缶などが捨てられている。見るたび、「がっかり」してる。
- ・ゴミはちゃんと捨てようと思いました。マナーを守ってみんながよく使えるようにしたいです。

このような光景が、実際に今年もありました。目を疑いたくなるような写真でした…。



連絡 (8月30日の日程について)

- ・西部方面大会のある人→大会での活躍を祈る。各部から指示が出ます。
- ・西部方面大会のない人→下の通りになります。

～	8:20	通常通り登校
8:20～	8:30	朝読書
8:30～	8:40	学活
8:45～		スポセンへ移動。
9:00～		バスケ部応援になります。

☆給食と下校バスはありますので、ご注意ください。

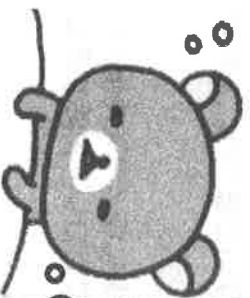
- ・雨天で試合延期(野球部など)の場合は、部活ごとに連絡網が回ると思います。顧問の先生に確認しておきましょう。

しつかり確認しておきましょう！

ちょっと変更になりました。チェックを！！

最近、突然雨が降ったり、蒸し暑かったり、急にひんやりしたり、天候の変化が激しい。近藤はここ1週間ほどおなかの調子が…。お互い体の調子を万全にしておきたいですね。

「学習のしおり」は未返却のテストがあるため、来週提出に変更します。



新聞記事でNIE授業

鹿追中 ごみ問題を語り合う



新聞記事を題材に意見交換する鹿追中の生徒たち

【鹿追】鹿追中学校(小澤一記校長、生徒147人)で26日、新聞記事を使った道徳の授業が行われた。今年5月に十勝毎日新聞で取り上げられた花見後のごみ問題を扱った記事を題材に、公共におけるマナーについて話し合った。

新聞を教育に活用するNIE学習の一環として行われ、この日は2年B組の生徒25人が参加した。緑ヶ丘公園のごみ問題から、「マナーってなんだろう」とテーマを設定した。

生徒たちは記事の感想を発表し、社会に必要なマナーについて真剣に意見を交換。「大人がこんなことをするのはおかしい」「どうして自分で片付けないのか」などさまざまな感想を発表していた。

同校は今年のNIE実践指定校の1つ。担任の近藤弘樹教諭は「新聞を通して社会のことを知り、視野を広げてほしい」と語った。(那須野唯通信員)



マナーって何だろう？

～暮らしやすい社会や環境について考えよう～

鹿追中学校2年B組「道徳」での実践

鹿追町立鹿追中学校 近藤 弘樹

授業のねらい

マナーについて考える

時と場合に応じた行動や判断が必要な場面について考える
自分の生活につなげていく(道徳的実践力)

学習の児童に応じて...

- ・自立した生徒に育ってほしい
- ・周りの状況に応じた行動ができるようになってほしい

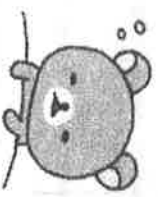


緑ヶ丘公園の写真(今年のある日)



生徒の反応

驚きの様子が見られました。
あまりのゴミの散乱の様子に、絶句していました。



課題(テーマ)提示

マナーって何だろう？
～暮らしやすい社会や環境について考えよう～

日々の生活を、マナーを通して考え直すきっかけにしたい
と願い、このようなテーマを設定しました。

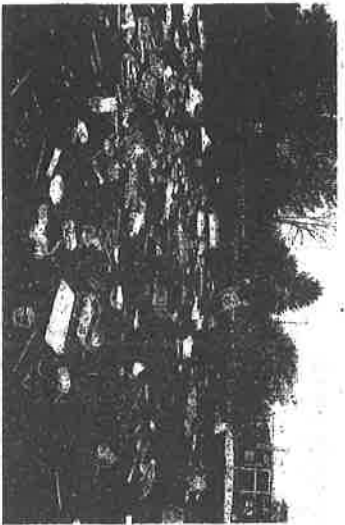
当者活動や集活動での自分
の知る思いについても見つめ
てほしい思いもありました。

記事を紹介



実物投影機で映し
だして紹介しました。
記事は私が読みま
した。

ゴミ拾いをする小林さんの写真



記事を紹介(生徒には印刷した物を配布)

結構な情報量かと思いましたが、隅々まで記事を読む姿が見られました。



考えてみましょう

「小林さんは、どのような気持ちで「ゴミ拾い」をしているのだろうか？」

「大人なのに、どうしてこんな恥ずかしいことをやるのだろう？」

「もどろナーを守ってほしい」

「ゴミを捨てている彼らは、ゴミを捨てる私たちの気持ちがわかるのだろうか？わからないのなら、わかってほしい」

「興味のない気がなぜ片付けをしているのだろう？」

「ナーを大切にすることを待つことが大切だと認識

記事を紹介(生徒には印刷した物を配布)



考えてみましょう

「警備員」に対する「罵声」という出来事から、思うことは何だろうか、書いてみよう。

「なんでこっちが罵声をあひなければいけないんだ？」

「警備員に罵声はひどいと思います。自分たちが悪いことをしているのに「うるせえ！」はひどいです。自分たちが気づいて謝罪するべきです」

「罵声を言った人は悪い人間だなと思う。」

「罵声を浴びせられて引き下がった警備員も悪い、元々こういうことを言われるのを承知でこの世界に入ったはずなのに「言われてびびりました」は何の悪い罰にもならないと思う。それと真正面にぶつかる勇氣と姿勢を身に付けてほしい。」

時と場合に応じた言葉遣いが必要だと感じる

自分たちの生活と結びつける



「自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るために必要なマナー」について感じたこと、考えたことを書いてみよう。

- 自分のものは自分で片付ける
- 人に迷惑をかけない
- マナーを守ってもらうために何をすべきか考えるべきだと思う
- お互いに気を配れるところが遠征隊のマナーかなと思います
- 相手を思いやる！！自分の行動は正しいのか...と考える。

普段の生活で気をつけていこうと思う気持ち

この授業から数ヶ月がたちました



周囲のことを考えながら生活する姿勢が強くなった...かな。



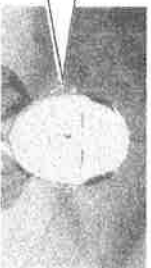
個的な変化はありませんが、気にかけるようになりました。何もしないのでは子どもは成長しません。どのような形であれ、子ども自身が考え、変わる手立てを示していくことが必要。大勢にしたいのは、考えるきっかけを提示し続けることだと思っています。

指導で必要なこと...学年間の共通理解

- ① 英語を適切に教習する
- ② どのような生徒を育てたいのか
- ③ どのような指導が必要か

考える

と、私は思っています



新聞活用の意義

実生活に身近にあるというリアルさ
情報が整理されている

子どもたちにとって
とらえやすい考え
やすい

学習会に感謝！



終わります。ありがとうございました。



今後もおろしくお願いします